

[編著] 牧野成一
Seiichi Makino
岡まゆみ
Mayumi Oka

日英共通

メタファー辞典

A Bilingual Dictionary of
English and Japanese
Metaphors



序 文

みなさんは「比喩／メタファー」と聞くと、なんだか文学的な小難しいもののような印象を持っていませんか。比喩というのは簡単に言うと「喩え」のことで、「ある概念を身近なわかりやすいものに喩えて表現する」という働きを持っています。そして、日常の言語生活に深く浸透していて、人々の相互理解を深めるため、また表現を豊かにするために大切な役割を果たしています。

本書の企画の出発点は、日本語と英語に共通の概念を持った比喩表現が多く存在することに気付いたことでした。言語が違っても同じ表現で同じ意味を表すことができれば、翻訳して使うだけで語彙数や表現力が倍加するのではないか。ならば、言語を対照しながら学習できる辞書があったら、語学学習に苦しんでいる人、表現力を磨きたいと思っている人々の役に立つに違いない！と考えたのがきっかけです。そこで、日英語共通の比喩表現を集め執筆を始めたのですが、道のりは想像以上に険しいものでした。

振り返ると、本書の企画が始まり完成するまでに20年近くの年月が過ぎ去ろうとしています。その間にはアメリカの同時多発テロ(9.11)があり、世界経済がリーマンショックにみまわれ、日本では東日本大震災(3.11)が起こり、そして、テロが日常の出来事のようにになってしまうなど、世界情勢が著しく変化を遂げました。それと共に、人々が口にする言葉も随分変化したと思います。

本書で取り上げた項目や例文も、時代の変化に合わせて、当初の原型をとどめないほどに書き換えたものもあります。しかし、言葉の持つ力「言霊」は、歳月を超えて脈々と生き続けていることを、本書の執筆を通して実感しました。比喩はそれぞれの言語で、文化や歴史、人々の生活を通して独自に創り上げられ、生き続けています。そして、それぞれの表現が根底で共通しているということは、チョムスキーの言う人間の言語の普遍性の証拠にもなると思います。「文化や言葉は違って共通の比喩が存在する」のは、人間の思考に流れる概念にあまり差異がないことを示唆していると言えるでしょう。

今現在、日本語や英語を学んでいる皆さん、もっと語彙・表現力を磨きたいと思っている皆さん、この辞典を大いに活用して、日英語の比喩力、表現力を身につけてください。本書は日英語の違いではなく共通点に視点をあてているので、自分の言語を下敷きにして学ぶことができます。ゼロから覚える必要がなくて学習効率もいいですし、言いたいことを何かに喩えて言い表すことで、表現力も間違いなく上達するはずですよ。

最後になりますが、綿密な英語校正のみならず内容にも洞察に富んだコメントをくださったグレン・ラシュリーさんに心から感謝します。グレンさんの協力なくしては、英語ページの充実はありませんでした。また、くろしお出版編集部の市川麻里子さん、斉藤章明さん、荻原典子さん、坂本麻美さん、金高浩子さんには、大変な編集作業を献身的に続けてくださったことに深くお礼を申し上げます。本書が我々の願いをのせて世界に羽ばたいていってくれることを願っています。

2017年10月吉日
牧野成一、岡まゆみ

Preface

What comes to mind when you hear the word “metaphor”? In a basic sense, metaphors are comparisons that we make to express concepts in terms that are familiar and easy to understand. They have suffused every aspect of our daily lives and play a vital role in deepening mutual understanding between people and enriching the language we use to communicate.

This work was inspired by the realization that English and Japanese share a multitude of conceptually analogous metaphorical expressions. It occurred to us that learning to convey the same meaning in a different language using similar expressions could greatly enhance one’s vocabulary and fluency. In which case, we thought, a dictionary that allows readers to advance their studies and improve their fluency while comparing the two languages side by side would certainly come in handy. And so we set about the task of compiling metaphorical expressions shared by both languages and presenting them in coherent form. Little did we realize that the journey was to be much more arduous than we expected.

Looking back, it has been nearly 20 years since we began working on this dictionary, and much has transpired in that time. From the events of 9/11 to the turmoil of the global financial crisis, the 2011 Tōhoku earthquake and tsunami, and the daily reality of terrorism, the world today is radically different than it was two decades ago. And along with this transformation came a considerable shift in the way people express themselves.

As a result, several of the entries and examples contained in this work needed to be completely revamped due to the change in global circumstances. Yet the experience of creating this dictionary has made us feel more strongly than ever that language is a living, breathing entity whose spirit persists throughout the ages. Each language’s metaphorical expressions are imbued with the unique culture, history, and life experiences of their users. The fact that many of these figures of speech share the same underlying meaning across different languages lends credence to Chomsky’s theory on the universal aspects of human language. For if the same metaphorical expressions exist across multiple cultures and languages, perhaps there are no major distinctions in the underlying conceptual framework that shapes our way of thinking.

So if you’re a student of English or Japanese striving to increase your vocabulary and polish your language skills, use this dictionary to help you integrate figurative expressions into your speech and refine your ability to express your thoughts. As this work focuses on the similarities rather than the differences between the two languages, you can use your own native language as a base to assist your comprehension of the material. And since there’s no need to start from scratch, you should find that your studies proceed at a rapid rate. We are confident that learning to convey your thoughts using figurative expressions will increase your linguistic dexterity.

Last but not least, we would like to extend our heartfelt gratitude to Glenn Lashley for his painstaking efforts during the editorial process as well as the rich insight he provided into the material. Without his contributions, the English portion of this work would not have come to fruition. We would also like to express our sincere thanks to Mariko Ichikawa, Fumiaki Saito, Noriko Ogiwara, Asami Sakamoto, and Hiroko Kanetaka of the Kurosio editorial staff for the tireless dedication they displayed every step of the way. It is our hope that this dictionary finds a home on bookshelves all across the world.

October 2017
Seiichi Makino, Mayumi Oka

比喩とは

本書の書名にある「メタファー/metaphor」という言葉の語源は古典ギリシャ語の「メタ(に) + フェレイン(運ぶ、移す)」(meta + pherein)です。日本語のタイトルの「メタファー」は英語からの借用語で比喩全般を指す時に使われます。また、英語のタイトルの metaphor は本来の意味は「隠喩」ですが、比喩表現のほとんどが隠喩であることから、英語でも metaphor という普通、比喩的表現を指すことが多いです。

「比喩」というのは、抽象的な概念や言語化しにくい物事をわかりやすく表すために、身近な物や生き物、具体的な事柄を喩えに使用して、言語上に移し替えた表現のことで、例えば、ドイツの詩人ハインリッヒ・ハイネ(1797-1856)の詩に「君は花のようだ」(Du bist wie eine Blume)という有名な一節があります。ただ単に「君は本当にきれいだね」と告げるより、「君は花のようにきれいだね」の方が、より視覚的で人の感情に訴える力を持っています。また、「人生は旅だ」という一節は、人生という抽象的な概念を一言で簡潔に言い尽くしています。この二つの文が意味するところはおそらく万国共通でしょう。

人間はコミュニケーションを円滑にするために、また言葉を使ってお互いを理解し合うために、ほとんど無意識のうちに比喩を使って生きています。その中には様々な言語、文化、歴史の中で独自に生まれたにも関わらず、共通の概念に根ざしているものが多くあります。そして、それらの多くが日常的な慣用句として用いられているのです。一方で、詩人や作家たちが独創的に創り出す比喩もまた、無限に存在します。それらの創造的比喩には個人の認知の仕方と表現の嗜好が反映されていて、一般に用いられている慣用的な比喩とは異なります。しかし、慣用句でも個人の創作でも、比喩が人間の言語活動に重要な役割を果たしていることは明らかです。

本書では、日英語の共通の慣用的比喩表現を以下の6種類に分類しました。

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 直喩
simile | 日本語では「よう/みたい」、英語では 'as/like' で表されるされる表現。多数の例があり日英語で共通の概念を持つものが多い。
☞ 炭のように黒い / (as) black as coal, 鳥のように自由 / (as) free as a bird |
| 2 隠喩
metaphor | 抽象的でわかりにくい概念や、説明しにくい物事を具体的にイメージしやすい言葉に置き換えて表現する。
① 視覚的類似性を表す表現
☞ 犬かき = 犬のような泳ぎ方 / dog paddle
綿あめ = 綿のような形をしたあめ / cotton candy
② 概念領域が近い表現
☞ 水と油 / oil and water = 考えや性質が合わず、絶対に交わらない
波長が合う / be on the same wavelength = 考え方や感じ方がよく似ている
③ 語彙の基本的意味を抽象的に発展させていく表現
☞ 川の流れ → 空気の流れ → 時代の流れ
家が近い → 年が近い → 考えが近い
④ 字義通りの意味と抽象の意味と二重の機能を持つ表現
☞ 川が {深い / 浅い} vs. 考えが {深い / 浅い}
飲み物が {温かい / 冷たい} vs. 人柄が {温かい / 冷たい} |

3 提喻
synecdoche

包含関係で表される比喩、つまり一部で全体を表したり、全体で一部を表すような表現。

- ・全体で一部を表す＝「花見をする」の「花」は桜を表していて、バラや百合など他の花を指しているわけではない。
- ・一部で全体を表す＝「人はパンだけで生きているわけではない」の「パン」は食べ物全体を表していてパンだけを指しているわけではない。

☑ 公共の目／public eye, 鍋釜／pots and pans

4 換喩
metonymy

外側で中の部分も意味する表現。或いは外から見える動作が内面の気持ちを表す表現。

- ① やかんが沸騰する＝外側の容器であるやかんが沸騰しているのではなく、やかんの中に入っている水が沸騰している。
井を食べた＝外側の容器である井を食べたのではなく、中に入っているご飯料理を食べた。

☑ 新しい血／new blood, 頭数／head count

- ② 唇を噛む：唇を噛んでいるというソトから見える動作が、悔しいという内面の気持ちを表している。☑ 唇を噛む／bite one's lip
手元に置く：ある物や人を自分のそばに置くというソトから見える動作が、その物や人を大切に思っている内面の気持ちを表している。

☑ 手元に置く／keep s.t. on hand

5 擬人化
personification

人間でないものを人間のように描写する表現

☑ 金がものを言う／Money talks, ビンの首／neck of a bottle, 机の脚／desk(s) legs, 時がいやしてくれる／Time is a great healer.

6 共感覚
synesthesia

身体的、感覚的な経験に根ざす表現。共感覚とは人間の五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を表す心理学の言葉。

☑ 甘い声／sweet voice＝甘くておいしいと感じた味覚が、
聴いて心地よいと感じる聴覚に転移した表現
苦い経験／bitter experience＝苦いと感じた味覚と、大変で苦しい経験が
結びついた表現

本書では、日英語で意味と形が類似している比喩に焦点を置いて見出し項目を作成しましたが、それぞれの類似の程度は様々です。完全に共通しているものもあれば、意味や用法が若干違うものなど、いろいろなタイプのものがあります。それらについては解説や関連語に説明を入れました。そして、日英語で形は似ていても意味が違う項目を「同形異義語」として取り上げました。また、見出し項目には、慣用的表現だけでなく、ことわざや故事成語、格言や成句、四字熟語なども入れました。

外国語を学ぶ時は両方の言語の違いが目立ちがちですが、共通点に目を向けることも言語習得の大きな助けとなります。この辞典は言葉を引くだけでなく、読み物としても楽しんでみてください。日英語でどんな概念が共通しているかを知るのはとても面白いですし、生きた例文や様々な視点に立った解説は言語の知識を豊かにします。本書がみなさんの日英語のレベルを上達させ、言語知識を深め、そして比喩力をつけることを願っています。

本書の使い方

- 1) 本書では、日本語と英語の比喩表現を、左頁に英語、右頁に日本語で紹介、解説しています。
- 2) 掲載は英語アルファベット順。日本語は五十音順索引を参照してください。
- 3) 以下の二つの分類(日英共通比喩表現(695組)、同形異義語(45組))に分けて解説しています。

【日英共通比喩表現】: 日本語と英語で、その形や比喩的意味がよく似ているものを「共通比喩表現」として左右の頁に並べて掲載しました。ただ、異なる言語であり、意味や用法については完全に一致していない部分もあるため、その共通点と共通しない点については解説で具体的に説明しています。

見出し

定義

関連語見出し

反意語見出し

例文

解説

関連語の解説

反意語の解説

品詞
比喩の種類

bend the rules phr. metaphor

to change the rules as one sees fit

● **REL** (break/violate) the rules

● **ANT** (obey/observe/stick to/play by) the rules

Examples

Mike: Could I take three weeks off this summer?

Section Chief: No, I can't bend the rules just for you.

(a) There will come times when common sense says you should bend the rules to accommodate the situation.

(b) If he can't win by following the rules of the game, then he's likely to bend the rules.

Notes

● *Mageru* can take *hōritsu* (law), *jijitsu* (facts), or *jisetsu* ((one's own) view) as its direct object, but *bend* can only take the first two. 解説(1)

REIL

● *Break the rules* and *violate the rules* correspond to *kisoku o yaburu* and *kisoku o okasu*, respectively. Note that the verbs *break/yaburu* and *violate/okasu* are also used metaphorically. 関連語(1)

ANT

● The English ANT is *{obey/observe/stick to/play by} the rules* and the Japanese ANTs are *kisoku ni shitagau* and *kisoku o mamoru*.

(1) If you are to live in this dorm, you must *{obey/observe/stick to/play by} the rules*, or there will be problems.
この寮に住んでいるからには、(規則に従って/規則を守って) もらわなければ困る。

解説例文
関連語例文
への参照
※日本語頁を参照

【同形異義語】: 日本語と英語で、形はよく似ているが、比喩的な意味が異なる表現を「同形異義語」として左右の頁に並べて掲載しました。

見出し

定義

例文

homograph

● **pull s.o.'s leg** / phr. / metaphor

● **to {tease/trick} s.o.**
かつぐ

Example

● John is good at pulling his friend's leg.
ジョンは友達をかつぐのがうまい。

見出し：比喩表現の見出し。

定義：字義通りの意味ではなく比喩的な意味。

例文：会話例と通常例文があります。会話例では、日常会話に自然に含まれている比喩表現を、通常例文では、時事的なものから文学的なものまで多様な例文を紹介しています。

関連語：見出しと置き換えられる同義表現や、一部を置き換えて使える表現、意味は似ているがニュアンスが異なる表現などを紹介しています。例文で具体的な用例を示しました。

反意語：見出しと反対の意味を持つ表現。例文で具体的な用例を示しました。

品詞 比喩の種類

見出し

定義

関連語見出し

反意語見出し

例文

解説

関連語の解説

反意語の解説

反意語例文への参照
※英語頁を参照

●規則を曲げる / phr. / 隠喩

●ルールを(誰かの利益になるよう)勝手に変える

●(圓)規則を(破る/犯す)

●(圓)規則に従う, 規則を守る

例文

●マイク: この夏、休暇を3週間とってもしようしいでしょうか。
課長: いや、君だけのために規則を曲げるわけにいかないだ。

(a) 状況に適應するために規則を曲げなければならない時が来るだろう。
(b) 試合の規則通りだと勝てない場合、彼は自分が勝つために規則を曲げるだろう。

解説

●日本語の「曲げる」は法律、事実、自説を直接目的語としてとれるが、英語の場合、自説には *bend* は使われない。 *change (one's own) view* となる。
(1) a. 法律を曲げる
pervert the law, bend the law

関連語

● *break the rules* と *violate the rules* はそれぞれ、「規則を破る」と「規則を犯す」に対応する。動詞 *break* 「破る」も *violate* 「犯す」も比喩的に使われている。
(1) この寮の規則を破ったら、もう住めなくなる。
If you break the dormitory rules, you will be asked to move out.

反意語

● 日英語の反意語は、それぞれ「規則に従う」「規則を守る」と (*obey/observe/stick to/play by*) *the rules* である。 (同) ANT (1)

同形異義語

見出し

定義

例文

●足を引っぱる / phr. / 隠喩

●だれかの成功や、何かの進行の邪魔をする
to impede s.o.'s success or progress

例文

●彼の行動はひとりよがり、いつもチームの足を引っぱってしまう。
He always does things his own way and ends up holding his team back.

凡 例

●略語・記号

例文	例文（日本語）
Examples	例文（英語）
解説	日本語の解説
Notes	英語の解説
関 関連語	関連語（日本語） 関連語の解説・例文
REL REL	関連語 related words（英語） 関連語の解説・例文
反 反意語	反意語（日本語） 反意語の解説・例文
ANT ANT	反意語 antonym words（英語） 反意語の解説・例文
同形異義語	同形異義語（日本語）
homograph	同形異義語（英語 homograph）
 Note(1)	英語頁 Note の例文(1)を参照
 REL(1)	英語頁 REL の例文(1)を参照
 ANT(1)	英語頁 ANT の例文(1)を参照
 解説(1)	日本語頁、解説例文(1)を参照
 関連語(1)	日本語頁、関連語例文(1)を参照
 反意語(1)	日本語頁、反意語例文(1)を参照
s.t.	something（何か）
s.o.	someone（誰か/人）
lit.	literally（字義通りの意味）
i.e.	id est（すなわち）
×	間違った用例
?	少し不自然な用例
??	間違いではないが、かなり不自然な用例
→(a)	例文(a)を参照
LOOK ➡	その見出しを参照

() 英語の見出し内	接続する前置詞など。省略可能 例) (as) black as coal
() 日本語の見出し内	接続する助詞など。省略可能 例) (～と)波長が合う
() 解説内	直前の単語の意味を表す。例) <i>oriru</i> (come down), 「インク」(ink)
“ ” 解説内	直前のフレーズの意味を表す。
{X/Y}	X あるいは Y。置き換え可能

●表記

イタリック	英語見出しを表す 例) <i>break the rules</i>
斜体	日本語見出しを表す 例) <i>kisoku o mageru</i>

●品詞

phr.	句、フレーズ	例) 全身を耳にする
n. phr.	名詞句	例) 血と汗と涙
n.	名詞	例) ひよこ
v.	動詞	例) 攻撃する
comp. n.	複合名詞	例) 視点
comp. v.	複合動詞	例) 燃え尽きる
adj.	形容詞	例) breathtaking
adj. (i)	イ形容詞	例) 冷たい
adj. (na)	ナ形容詞	例) 無神経(な)
adj. (i). phr.	イ形容詞句	例) (～に)弱い
adv.	副詞	例) 文字通り(に)
adv. phr.	副詞句	例) by a nose
comp. adj.	複合形容詞	例) deep-rooted
comp. adj. (i)	複合イ形容詞	例) 根深い
comp. adj. (na)	複合ナ形容詞	例) 冷血(な)
comp. adv.	複合副詞	例) 手近に
prep.	前置詞	例) beyond

●会話文登場人物

鈴木 (夫)	Mr. S	鈴木家の夫・父	カレン	Karen	英語教師、鈴木家の友人
鈴木 (妻)	Mrs. S	鈴木家の妻・母	マイク	Mike	会社員、鈴木家の友人
健太	Kenta	鈴木家の息子(大学生)	課長	Section Chief	会社員
さや	Saya	健太の友人	同僚	Colleague	会社員

What Are Metaphors?

The word *metaphor* in the title is derived from the Greek words *meta* and *pherein*, which together mean “to carry over; to transfer.” *Metafaa*, used in the Japanese title, is derived from *metaphor* and employed as a general term that denotes all types of figurative expressions. While *metaphor* primarily refers to words or phrases used to represent something other than their literal meanings, considering that most figures of speech are metaphors, this word is often used in the more general sense of “a figurative expression.”

Metaphors are expressions that take abstract concepts and phenomena that are difficult to put into words and transpose their meanings onto familiar objects, creatures, and other concrete matters, thereby making them easier to understand. One famous example is the line *Du bist wie eine Blume* (You are so like a flower) from the poem of the same name by German poet Heinrich Heine (1797-1856). The visual imagery and emotional force of this expression creates a more powerful effect than simply saying “you are very beautiful.” Another example is “life is a journey,” which distills the abstract concept of life into a simple expression. Both examples convey meanings that are presumably universal.

People employ metaphors almost unconsciously to ensure smooth communication and foster mutual understanding. And while these metaphors may have originated in different linguistic, cultural, and historical contexts, many of them are rooted in the same underlying concepts. Several find use in our daily lives as idiomatic expressions, while creative individuals such as poets and authors invent countless other original expressions as well. These original creations reflect the unique perceptions and expressive tendencies of their creators, which sets them apart from commonly used idiomatic expressions. However, whether they be idioms or personal inventions, it is clear that metaphors play an indispensable role in human communication.

This work focuses on the following six categories of common figurative expressions shared between English and Japanese.

1 Simile An expression that uses *yō/mitai* in Japanese or *as/like* in English. There are many examples of this type of expression, and several of these share the same concept in both languages.

👉 (as) black as coal / 炭のように黒い, (as) free as a bird / 鳥のように自由

2 Metaphor An expression that uses concrete images to represent complex, abstract ideas and phenomena that are difficult to explain in words.

① Expressions that convey visual similarity

👉 dog paddle / 犬かき = swimming like a dog
cotton candy / 綿あめ = candy that looks like cotton

② Expressions that convey conceptual similarity

👉 oil and water / 水と油 = having thoughts and personalities that don't match at all
be on the same wavelength / 波長が合う = thinking and feeling the same way

③ Expressions that employ terms' literal meanings in figurative fashion

👉 Flow of a river → airflow → flow of time
The house is close → close in age → their ideas are close

④ Expressions that function both literally and figuratively

👉 The river is {deep/shallow} / someone's thinking is {deep/shallow}
The drink is {warm/cold} / someone's personality is {warm/cold}

3
Synecdoche

A figurative expression that is conveyed via a relationship of inclusion; that is, expressing the whole in terms of a part or a part in terms of the whole.

- *Flower viewing* expresses a part in terms of the whole, since *flower* is used to represent cherry blossoms specifically and not other flowers such as roses and lilies.
- *Man cannot live on bread alone* expresses the whole in terms of a part, since *bread* is used to represent all food, not just bread.

㊦ public eye / 公共の目, pots and pans / 鍋釜

4
Metonymy

An expression that represents the interior via the exterior or internal emotions via external gestures.

① *The kettle is boiling*: The kettle (the external container) is not itself boiling; rather, the water inside the kettle is boiling.

I ate a bowl (of something): One did not eat the bowl (the external container) itself, but rather the food inside the bowl.

㊦ new blood / 新しい血, head count / 頭数

② *Bite one's lip* = The external act of biting one's lip signifies internal frustration.

㊦ bite one's lip / 唇を噛む

Keep something on hand = The external act of keeping someone or something close by signifies the importance that one attaches to that person or thing. ㊦ keep s.t. on hand / 手元に置く

5
Personification

Describes an expression in which human characteristics are assigned to a non-human entity.

㊦ Money talks. / 金がものを言う, neck of a bottle / ビンの首
desk('s) legs / 机の脚, Time is a great healer. / 時がいやしてくれる

6
Synesthesia

Describes an expression rooted in a physical or sensory experience. Synesthesia is a psychological term that is related to the five human senses (sight, hearing, touch, taste, and smell).

㊦ Sweet voice / 甘い声 = This expression transfers the gustatory sensation of tasting something sweet and delicious to the auditory sensation of hearing a pleasant sound.

Bitter experience / 苦い経験 = This expression links the experience of tasting something bitter to the experience of enduring a difficult, distressing situation.

While this work focuses on English and Japanese expressions whose forms and meanings resemble one another, there are varying degrees of resemblance. Some entries are nearly identical, while others have slight differences in meaning and usage. These differences are addressed via the explanations and related expressions. Entries that are similar in form but different in meaning are treated as homographs. In addition, entries consist not only of idiomatic expressions, but also various types of proverbial expressions.

When studying a foreign language, it is common to focus on the differences between your native tongue and the language of study, but examining the similarities can greatly enhance language acquisition as well. Try treating this dictionary as reading material rather than simply as a reference. It is quite fascinating to learn just how much English and Japanese have in common, and the various examples and explanations provided are sure to enrich your language-learning experience. We hope this work improves your English and Japanese skills, deepens your linguistic knowledge, and helps you weave figurative expressions into your daily conversations.

Using the Dictionary

- 1) In this text, the English expressions and explanations are listed on the left, while the corresponding Japanese is listed on the right.
- 2) Entries are ordered according to the English alphabet. The Japanese entries can be looked up in the Japanese syllabary index.
- 3) The entries are divided into two categories: shared metaphorical expressions (695 pairs) and homographs (45 pairs).

[Shared Metaphorical Expressions]: English and Japanese expressions whose form, figurative meaning, and other elements resemble one another are considered “shared metaphorical expressions” and listed side by side. However, as there are often differences in meaning and usage arising from the differences in the languages, details pertaining to each entry are provided in the Notes section.

	Part of Speech	Type of Figurative Expression
Main Entry	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> bend the rules phr. metaphor </div>	
Definition	to change the rules as one sees fit	
Related Expressions	<ul style="list-style-type: none"> • REL (break/violate) the rules • ANT (obey/observe/stick to/play by) the rules 	
Opposite Expressions	Examples	
Examples	<ul style="list-style-type: none"> • Mike: Could I take three weeks off this summer? • Section Chief: No, I can't bend the rules just for you. <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) There will come times when common sense says you should bend the rules to accommodate the situation. (b) If he can't win by following the rules of the game, then he's likely to bend the rules. 	
Explanation	Notes <ul style="list-style-type: none"> • <i>Mageru</i> can take <i>horitsu</i> (law), <i>jijitsu</i> (facts), or <i>jisetsu</i> ((one's own) view) as its direct object, but <i>bend</i> can only take the first two. 開解(1) 	
Related Expression Explanation	<ul style="list-style-type: none"> • REL <i>Break the rules</i> and <i>violate the rules</i> correspond to <i>kisoku o yaburu</i> and <i>kisoku o okasu</i>, respectively. Note that the verbs <i>break/yaburu</i> and <i>violate/okasu</i> are also used metaphorically. 開連語(1) 	
Opposite Expression Explanation	<ul style="list-style-type: none"> • ANT The English ANT is <i>(obey/observe/stick to/play by) the rules</i> and the Japanese ANTs are <i>kisoku ni shitagau</i> and <i>kisoku o mamoru</i>. (1) If you are to live in this dorm, you must (obey/observe/stick to/play by) the rules, or there will be problems. この寮に住んでいるからには、規則に従って/規則を守って もらわなければ困る。 	

Refer to Note Example/
REL Example
*In Japanese section

[Homographs]: English and Japanese expressions that resemble one another in form but not figurative meaning are considered “homographs” and listed side by side.

Main Entry	<div style="background-color: #f0f0f0; padding: 2px;">homograph</div>
Definition	<ul style="list-style-type: none"> • pull s.o.'s leg / phr. / metaphor • to {tease/trick} s.o.
Examples	Example <ul style="list-style-type: none"> • John is good at pulling his friend's leg. ジョンは友達をかつぐのがうまい。

Main Entry: The metaphorical expression being examined.

Definition: The figurative meaning of the expression (as opposed to the literal meaning).

Examples: There are example dialogues and example sentences. The dialogues usually feature expressions that come up naturally in daily conversation, while the example sentences feature a variety of usages ranging from the topical to the philosophical.

Related Expressions: Related expressions include those that have the same meaning as the main entry and can replace it freely, expressions that can replace the main entry in certain situations, expressions with similar meanings but differences in nuance, and so on. Examples of usage are included as well.

Opposite Expressions: Expressions with meanings that are opposite that of the main entry. Examples of usage are included as well.

	Part of Speech	Type of Figurative Expression
Main Entry	phr.	隠喩
Definition	●規則を曲げる	
Related Expressions	●ルールを(誰かの利益になるよう)勝手に変える	
Opposite Expressions	●(圓)規則を(破る/犯す) ●(反)規則に従う、規則を守る	
Examples	<p>例文</p> <p>●マイク: この夏、休暇を3週間とってもしっかりしたいですか。 課長: いや、君だけのために規則を曲げるわけにいかないんだ。</p> <p>●(a) 状況に適應するために規則を曲げなければならない時が来るだろう。 (b) 試合の規則通りだと勝てない場合、彼は自分が勝つために規則を曲げるだろう。</p>	
Explanation	<p>解説</p> <p>●日本語の「曲げる」は法律、事実、自説を直接目的語としてとれるが、英語の場合、自説には <i>bend</i> は使われない。 <i>change (one's own) view</i> となる。</p> <p>(1) a. 法律を曲げる pervert the law, bend the law</p>	
Related Expression Explanation	<p>関連語</p> <p>● <i>break the rules</i> と <i>violate the rules</i> はそれぞれ、「規則を破る」と「規則を犯す」に対応する。 動詞 <i>break</i> 「破る」も <i>violate</i> 「犯す」も比喩的に使われている。</p> <p>(1) この寮の規則を破ったら、もう住めなくなる。 If you break the dormitory rules, you will be asked to move out.</p>	
Opposite Expression Explanation	<p>反意語</p> <p>●日英語の反意語は、それぞれ「規則に従う」「規則を守る」と <i>(obey/observe/stick to/play by) the rules</i> である。 (ANT (1))</p>	

Refer to ANT Example
*In English section

Main Entry	同形異義語
Definition	●足を引っぱる / phr. / 隠喩 ●だれかの成功や、何かの進行の邪魔をする to impede s.o.'s success or progress
Examples	<p>例文</p> <p>●彼の行動はひとりよがり、いつもチームの足を引っぱってしまう。 He always does things his own way and ends up holding his team back.</p>

Usage Guide

● Abbreviations/Symbols

例文	Japanese Examples
Examples	English Examples
解説	Japanese Explanation
Notes	English Explanation
関	Japanese Related Expressions
関連語	Related Expression Explanation/Examples
REL	English Related Expressions
REL	Related Expression Explanation/Examples
反	Japanese Opposite Expressions
反意語	Opposite Expression Explanation/Examples
ANT	English Opposite Expressions
ANT	Opposite Expression Explanation/Examples
同形異義語	Japanese Homograph
homograph	English Homograph
📖 Note (1)	Refer to English Note Example (1)
📖 REL (1)	Refer to English REL Example (1)
📖 ANT (1)	Refer to English ANT Example (1)
📖 解説 (1)	Refer to Japanese Note Example (1)
📖 関連語 (1)	Refer to Japanese REL Example (1)
📖 反意語 (1)	Refer to Japanese ANT Example (1)
s. t.	Something
s. o.	Someone
lit.	Literally
i. e.	id est (Latin for "that is")
×	Incorrect usage
?	Somewhat unnatural usage
??	Very unnatural usage
→ (a)	Refer to Example (a)
LOOK➡	Refer to the entry indicated

() used inside an English entry	Indicates prepositions and other elements that can be omitted e.g. (as) black as coal
() used inside a Japanese entry	Indicates particles and other elements that can be omitted e.g. (〜と) 波長が合う
() used inside an explanation	Defines the preceding element e.g. <i>oriru</i> (come down), 「インク」(ink)
“ ” used inside an explanation	Defines the preceding element
{ X/Y }	X or Y. Interchangeable

● Type Style

Italics	Indicates an English expression e.g. <i>break the rules</i>
Slanted	Indicates a Japanese expression e.g. <i>kisoku o mageru</i>

● Parts of Speech

phr.	Phrase	e.g. be all ears
n. phr.	Noun Phrase	e.g. blood, sweat, and tears
n.	Noun	e.g. chicken
v.	Verb	e.g. attack
comp. n.	Compound Noun	e.g. viewpoint
comp. v.	Compound Verb	e.g. bad-mouth
adj.	Adjective	e.g. breathtaking
adj. (i)	i-adjective	e.g. 冷たい
adj. (na)	na-adjective	e.g. 無神経(な)
adj. (i). phr.	i-adjective phrase	e.g. (〜に)弱い
adv.	Adverb	e.g. literally
adv. phr.	Adverb Phrase	e.g. by a nose
comp. adj.	Compound Adjective	e.g. deep-rooted
comp. adj. (i)	Compound i-adjective	e.g. 根深い
comp. adj. (na)	Compound na-adjective	e.g. 冷血(な)
comp. adv.	Compound Adverb	e.g. 手近に
prep.	Preposition	e.g. beyond

● Dialogue Characters

鈴木 (夫)	Mr. S	Mr. Suzuki. Kenta's father and Mrs. Suzuki's husband	カレン	Karen	English teacher, friends with the Suzukis
鈴木 (妻)	Mrs. S	Mrs. Suzuki. Kenta's mother and Mr. Suzuki's wife	マイク	Mike	Company employee, friends with the Suzukis
健太	Kenta	Son of Mr. and Mrs. Suzuki (college student)	課長	Section Chief	Company employee
さや	Saya	Kenta's friend	同僚	Colleague	Company employee

ABCs of ~, the / n. phr. / metaphor

(to know) the basics of s.t.

Examples

Saya: Kenta, can you show me how to work this computer?

Kenta: You know, these sorts of things are like the ABCs of using a computer.

Saya: You're pretty good with computers, aren't you?

Kenta: I suppose.

- (a) She doesn't even know the ABCs of dancing, yet she thinks she's a pro.
- (b) That producer doesn't even know the ABCs of filmmaking.

Note

The English and the Japanese use the first three entries of the alphabet and the Japanese syllabary, respectively. The older *hiragana* arrangement (as opposed to the newer *A-I-U-E-O* order) is based on a poem traditionally ascribed to the Buddhist monk *Kūkai* (774-835). It goes like this: *I-RO-HA-NI-HO-HE-TO-CHI-RI-NU-RU-(W)O-WA-KA-YO-TA-RE-SO-TSU-NE-NA-RA-MU-U-(W)I-NO-O-KU-YA-MA-KE-FU-KO-E-TE-A-SA-KI-YU-ME-MI-SHI-(W)E-HI-MO-SE-SU*. The translation is as follows: “The colors blossom, scatter and fall. In this world of ours, who lasts forever? Today let us cross over the remote mountains of life’s illusions, and dream no more shallow dreams nor succumb to drunkenness.”

ache in one's heart / n. phr. / metaphor

psychological suffering

REL heartache

Examples

- (a) The tears in my eyes I can wipe away, but the ache in my heart will always stay.
- (b) Losing a child is the most painful tragedy a parent can suffer. There's a constant ache in my heart.
- (c) After she broke up with her first love, she thought that the ache in her heart would never heal.

Note

The English sounds like it could describe either a mental or a physical condition, but the Japanese does not. This is because *heart* can mean either “the organ in one’s chest that pumps blood” or “the seat of one’s {thoughts/feelings},” whereas *kokoro* can only refer to the latter. To refer to physical pain in one’s heart, one must use *shinzō no itami* (pain in the heart [organ]).

REL

1. The Sino-Japanese *shintsū* is used in formal written Japanese. 📖 関連語(1)
2. The English has the REL *heartache*.

(~の)イロハ / phr. / 隠喩

何かの基本を知っている

例文

さや：健太、ちょっとこのコンピュータの操作について、教えて。

健太：あ、なんだ。こんなのコンピュータのイロハだよ。

さや：健太はコンピュータが強いわね。

健太：まあね。

(a) 彼女はダンスのイロハも知らないのに、自分はダンスがうまいと思っている。

(b) そのプロデューサーは映画製作のイロハも知らない。

解説

日英語はそれぞれアルファベットと平仮名いろはにはへと…、の最初の3文字を使っている。新しい平仮名の順序(あ-い-う-え-お)に対して、この古い平仮名の順序は僧侶空海(774-835)の作とされている「いろは歌」に基づいている。この歌は「いろ(色)はにほ(匂)へとちり(散)りぬるをわか(我)よ(世)たれ(誰)そつね(常)ならむうる(有為)のおくやま(奥山)けふ(今日)こ(越)えてあさ(浅)きゆめ(夢)み(見)しえひ(酔)もせず」である。

心の痛み / n. phr. / 隠喩

心理的な苦しみ

関 心痛

例文

(a) 目の涙はふくことができるが、心の痛みはいつまでも残る。

(b) 子供を失うことは親にとっては最もつらい悲劇です。私はいつまでも心が痛みます。

(c) 初恋が終わってしまった後、彼女は心の痛みは決して癒えることはないと感じた。

解説

英語は心身両面のことを言っているように聞こえるが、日本語ではそうは聞こえない。なぜならば、heartは「心臓」と「心」の二つの意味で使われるのに対して、日本語では気持ちを表す「心」を使っていて、「心臓の痛み」と言えば「心臓器官の痛み」でしかないからである。

関連語

1. 日本語には漢語系の「心痛」という言葉もあるが、これは堅い書き言葉として使われる。
- (1) 目の涙はふくことができるが、{心の痛み/心痛}はいつまでも残る。(→(a))
2. 英語にも *heartache* という関連表現がある。

Achilles' heel / comp. n. / metaphor

{s.o./s.t.}'s most vulnerable spot

Examples

- (a) His strong sense of responsibility is his Achilles' heel.
- (b) When it comes to America's prosperity, the international value of the dollar is most likely to be its Achilles' heel.
- (c) That politician's Achilles' heel is his pride. He gets very angry if anyone criticizes his behavior.

Notes

1. This phrase refers to Achilles, the hero of Homer's *Iliad*, whose only vulnerable spot was his heel. He killed Hector but was himself killed by Paris, who shot a poison arrow into the Greek warrior's heel.
2. The Japanese is very likely a translation of the English.

act of God, an / n. phr. / metaphor

an uncontrollable natural force

Examples

- (a) The defendant claimed the accident was "an act of god."
- (b) The fine print states that the insurance company doesn't have to pay if the disaster is "an act of god."

Note

The Japanese expression can be used to imply not only an uncontrollable natural force, but also divine powers.  解説(1)

add fuel to the fire / phr. / metaphor

to do s.t. that worsens a situation

REL fan the flames; pour oil on the fire

Examples

Mr. S: The Tanakas are finally getting divorced.

Mrs. S: So I heard. And after all that advice you gave them!

Mr. S: Well, it looks like all I did was add fuel to the fire.

- (a) The mass media's sharp criticism of the terrorists only added fuel to the fire.
- (b) During the debate, the professor's critical remarks only added fuel to the fire.
- (c) The policemen tried to contain the riot, but they only ended up adding fuel to the fire.

(~の)アキレス腱 / n. phr. / 隠喩

{人 / 組織}の一番の弱点

例文

- (a) 彼のアキレス腱は責任感が強すぎるどころだ。
 (b) ドルの国際的価値が、アメリカの繁栄のアキレス腱になる可能性が最も大きい。
 (c) その政治家のアキレス腱は自尊心だ。彼は自分の行動を批判されるとひどく腹をたててしまう。

解説

- この表現の出所は、ホメロスの『イリアッド』に出てくるギリシャの英雄アキレスである。彼はかかと以外は弱点がなかった。ヘクトルを殺し、自分自身もパリスの毒矢にかかとを撃たれて死んだという。
- 日本語は英語からの翻訳の可能性が高い。

神の仕業 / n. phr. / 隠喩

人間がコントロールできない自然の力の働き、人間を超えた能力

例文

- (a) 弁護側は、その事故は神の仕業だと主張した。
 (b) その細かい条項には、災害が「神の仕業」なら保険会社は支払う必要はないと書かれている。

解説

日本語の比喩的意味には英語のように、ただ“人間にコントロールできない自然の力”という意味だけでなく“神のような能力”という意味もある。

- (1) モーツァルトの作った曲は神の仕業としか思えない。
 Mozart's compositions are [divinely inspired/×an act of god].

火に油を注ぐ / phr. / 隠喩

何かをすることで状況を悪化させる

例文

- 鈴木(夫)：田中君夫婦は結局、離婚することになったよ。
 鈴木(妻)：そうらしいわね。せっかくあなたがいろいろ助言してあげたのに。
 鈴木(夫)：う～ん、どうもそれが火に油を注ぐ結果になってしまったようだね。

- (a) マスコミの痛烈なテロ批判が、テロリストの活動の火に油を注ぐことになった。
 (b) 教授の批判的なコメントで、論争の火に油が注がれた。
 (c) 警官は乱闘の鎮圧をしようとしたが、かえって火に油を注ぐ結果となった。

Note

The components of the Japanese and English expressions are different: *add* versus *sosogu* (to pour) and *fuel* versus *abura* (oil). However, taken as a whole, each expression conveys the same figurative meaning.

REL

The English has two RELs: *fan the flames* and *pour oil on the fire*. The latter is much closer to the Japanese expression, but this English expression is used much less frequently than *add fuel to the fire*.

- (1) During the debate, the professor's critical remarks only {added fuel to the fire/fanned the flames/poured oil on the fire}. (→(b))

against the tide (of ~) / phr. / metaphor

to oppose that which is generally accepted

ANT ~ with the tide

Examples

Saya: So you're gonna vote for the Green Party, huh?

Kenta: Yep. You're not gonna get on my case, are you?

Saya: Of course not. If that's what you believe, then go for it.

Kenta: Thanks. It's not easy going against the tide of public opinion.

- (a) To implement health policies that favor the poor, it is necessary to swim against the tide of politics.
- (b) His refusal to use computers goes against the tide of the times.

Notes

1. The verb before *against the tide (of ~)* is usually either *swim* or *go*, but other verbs such as *fight* are occasionally used as well. Among these verbs, *swim* is most frequently used because of its close association with *tide* in English. The noun *tide* can be replaced by *flow* or *current* while maintaining the same figurative meaning.
- (1) Going against the {tide/flow/current} is never easy. It makes us look strange and out of step with the mainstream.
流れに逆らうことはとても不愉快なことです。変わり者で、主流からそれているように見えるからです。
2. In the Japanese, the verb is *sakarau* (vt., to go against).

ANT

The English ANT uses the preposition *with* instead of *against*, as shown in (1), and the Japanese ANT uses the verb phrase *saosasu* (to pole a boat). 📖→ 反意語(1)

解説

日英語の語構成は、*add*(加える)と「注ぐ」、*fuel*(燃料)と「油」で基本義が違うが、全体としての比喩の意味は同じである。

関連語

英語には、*fan the flames* と *pour oil on the fire* の2種類の関連表現がある。*pour oil on the fire* のほうが日本語の形にはるかに近いが、この表現は *add fuel to the fire* よりもはるかに使用頻度が低い。📖 REL(1)

流れに逆らう / phr. / 隠喩

{一般的に認められている考え方 / 世論}に反対する

☞ 流れにさおさす

例文

さや：緑の党に投票するの？

健太：うん。文句なんか言わないよね。

さや：もちろんよ。健太がいいと思っているんならそうしたらいいじゃない。

健太：どうもありがとう。世間の流れに逆らうって易しくないけどね。

(a) 貧しい人々に配慮した医療政策を実行するためには、政治の流れに逆らわなければならない。

(b) 彼は時代の流れに逆らって、コンピュータは一切使わない。

解説

- 英語の *against the tide* (*of* ~) の前に来る動詞は *swim* か *go* で、ときには *fight* となる。しかし *tide*(潮の流れ)との関連で、一番使用頻度が高い動詞は *swim*(泳ぐ)である。英語の名詞 *tide* は *flow*、*current* のいずれとも、同じ比喩の意味で置き換えられる。📖 Note(1)
- 日本語の動詞は「逆らう」である。

反意語

英語の反意表現は前置詞 *against* が *with* になり、日本語の反意表現は動詞「逆らう」が「さおさす」に変わる。

- 流れにさおさすほうが常に安全だ。世の中と違うことをすれば、責任も、義務も、さらには問題まで出てきてしまう。

It is always safer to swim with the tide; being different may invite responsibility, accountability, and even trouble.

■ 著者紹介

牧野成一

まさの せいいち

現職 イリノイ大学アジア研究センター・言語学科名誉教授、プリンストン大学東洋学科日本語・言語学名誉教授

最終学歴 イリノイ大学大学院言語学博士

教歴 イリノイ大学教授、プリンストン大学教授を経て名誉教授

著書 Some Aspects of Japanese Nominalizations (Tokai University Press, 1968); 『ことばと空間』(東海大学出版会, 1978); 『ウチとソトの言語文化学』(アルク, 1996); 『くりかえしの文法』(大修館書店, 1980); 『日本語学習 基礎英日辞典』(講談社インターナショナル, 2002); 『日本語基本文法辞典』『日本語文法辞典 [中級編][上級編]』(共著, ジャパンタイムズ, 1986/1995/2008)、ほか研究論文多数

その他 瑞宝中綬章受賞 (2014)

Seiichi Makino

Current position Professor Emeritus of Japanese and Linguistics, Center for Asian Studies, University of Illinois at Urbana-Champaign; Professor Emeritus of Japanese and Linguistics, Department of East Asian Studies, Princeton University

Highest degree Ph.D. in Linguistics, University of Illinois at Urbana-Champaign

Teaching history Professor, University of Illinois; Professor, Princeton University

Major publications *Some Aspects of Japanese Nominalizations* (Tokyo: Tokai University Press, 1968); *Language and Space* (Tokyo: Tokai University Press, 1978); *Roles of Inside and Outside in Linguistic and Cultural Studies* (Tokyo: ALC PRESS INC., 1996); *Grammar of Repetition* (Tokyo: Taishukan, 1980); *Kodansha's Basic English-Japanese Dictionary* (Kodansha International, 2002); *A Dictionary of Basic Japanese Grammar*; *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar*; *A Dictionary of Advanced Japanese Grammar* ([Co-authored with Michio Tsutsui], Tokyo: The Japan Times, 1986/1995/2008); and many other papers on linguistics and pedagogy

Other The Order of the Sacred Treasure, Gold Rays with Neck Ribbon (2014)

岡 まゆみ

おか

現職 ミシガン大学アジア言語文化学科日本語プログラムディレクター、ミシガン大学夏期日本語教授法コース主任講師

最終学歴 ロチェスター大学大学院教育学修士課程修了

教歴 上智大学非常勤講師、コロンビア大学専任講師、プリンストン大学専任講師、ミシガン大学専任講師を経て現職

著書 『中上級者のための速読の日本語 [第2版]』(ジャパンタイムズ, 2013); 『上級へのとびら』(共著、くろしお出版, 2010); 『きたえよう漢字力』(共著、くろしお出版, 2010); 『中級日本語を教える 教師の手引き』(くろしお出版, 2011); 『これで身につく文法力』(共著、くろしお出版, 2012)、ほか研究論文多数

Mayumi Oka

Current position Director, Japanese Language Program, Department of Asian Languages and Cultures, University of Michigan; Head Lecturer, Japanese Pedagogy Course, Summer Language Institute, University of Michigan

Highest degree M.A. in Education, University of Rochester

Teaching history Part-time Lecturer, Sophia University, Japan; Lecturer, Columbia University; Lecturer, Princeton University; Lecturer, University of Michigan

Major publications *Rapid Reading Japanese [Second Edition] Improving Reading Skills of Intermediate and Advanced Students* (Tokyo: The Japan Times, 2013); *TOBIRA Gateway to Advanced Japanese Learning Through Content and Multimedia* (Tokyo: Kurosio Publishers, 2009); *Power up Your KANJI* (Tokyo: Kurosio Publishers, 2010); *Teaching Intermediate Japanese Teacher's Guide* (Tokyo: Kurosio Publishers, 2011); *Grammar Power: Exercises for Mastery* (Tokyo: Kurosio Publishers, 2012); and many other papers on linguistics and pedagogy

■英文校閲

グレン・ラシュリー / Glenn Lashley

2007年にハーバード大学英米文学部を卒業。英米文学学士号を取得。2013年にミシガン大学日本学研究センターにて日本学修士号を取得。現在は東京在住でフリーランスの編集者、翻訳者として活躍中。

Glenn Lashley received a B.A. in English and American Literature and Language from Harvard University in 2007 and an M.A. in Japanese Studies from the University of Michigan in 2013. He currently lives and works in Tokyo as a freelance editor and translator.

■校閲協力：藤田 侑一郎

にちえいきょうつう

日英共通メタファー辞典

A Bilingual Dictionary of English and Japanese Metaphors

2017年 11月27日 第1刷 発行

[著者] 牧野成一
岡まゆみ

[発行人] 岡野秀夫

[発行所] くろしお出版
〒113-0033 東京都文京区本郷3-21-10
Tel : 03-5684-3389 Fax : 03-5684-4762
URL : <http://www.9640.jp> Mail : kurosio@9640.jp

[装丁] 庄子結香(カレラ)

[印刷] 藤原印刷

© 2017 Seiichi Makino, Mayumi Oka, Printed in Japan
ISBN 978-4-87424-745-7 C3581

乱丁・落丁はお取り替えいたします。本書の無断転載・複製を禁じます。